

証券CFD取引契約締結前交付書面 新旧対照表

平成 26 年 1 月 18 日

(下線部分変更)

旧	新
<p>CFDとは Contract For Difference の略称であるデリバティブ（金融派生商品）になります。本取引は、<u>株価指数、株価指数先物</u>（以下、「原資産」という）の価格を参照して行われる取引であり、取引開始時点の価格と取引終了時点の価格との差額により決済が行われる差金決済取引です。</p> <p>本取引は、原資産となる<u>株式、株価指数、株価指数先物</u>の価格を参照して当社が提示する買値、売値の価格をお客様との相対で売買する取引であり、原資産の価格の変動により損失が生ずることがあります。本取引は証拠金取引であり、少額の証拠金を元に多額の取引が可能になるため、多額の利益が得られる可能性がある反面、多額の損失を被る危険を伴う取引です。したがって、取引を開始する場合又は継続して行う場合には、本書面だけでなく、取引の仕組みやリスクについて十分研究し、自己の資力、取引経験及び取引目的等に照らして適切であると判断する場合にのみ、自己の責任において行うことが肝要です</p>	<p>CFDとは Contract For Difference の略称であるデリバティブ（金融派生商品）になります。本取引は、<u>株価指数先物</u>（以下、「原資産」という）の価格を参照して行われる取引であり、取引開始時点の価格と取引終了時点の価格との差額により決済が行われる差金決済取引です。</p> <p>本取引は、原資産となる<u>株価指数先物</u>の価格を参照して当社が提示する買値、売値の価格をお客様との相対で売買する取引であり、原資産の価格の変動により損失が生ずることがあります。本取引は証拠金取引であり、少額の証拠金を元に多額の取引が可能になるため、多額の利益が得られる可能性がある反面、多額の損失を被る危険を伴う取引です。したがって、取引を開始する場合又は継続して行う場合には、本書面だけでなく、取引の仕組みやリスクについて十分研究し、自己の資力、取引経験及び取引目的等に照らして適切であると判断する場合にのみ、自己の責任において行うことが肝要です</p>

旧	新
<p>証券CFD取引のリスク等重要事項について 証券CFD取引のリスクについて</p> <p>・<u>株価指数CFD（限月がない銘柄を除く）については、銘柄ごとに決済期限が決められています。お客様が建玉を保有し、反対売買により建玉を取引最終日までに決済されなかった場合、当該建玉は取引最終日の翌営業日に最終清算価格で自動的に決済されます。</u></p> <p>・<u>株価指数CFD（限月のある銘柄を除く）において、決済期日を設けていないため、当社が定める日に建玉を保有していた場合、当社で定めた価格調整額が発生します。</u> 価格調整額は、参考市場の最終営業日の前に当社が定める日において参照原資産の交代を行うため 期近と期先の価格差を基に算出します。</p>	<p>(削除)</p> <p>・株価指数CFDにおいて、決済期日を設けていないため、当社が定める日に建玉を保有していた場合、当社で定めた価格調整額が発生します。 価格調整額は、参考市場の最終営業日の前に当社が定める日において参照原資産の交代を行うため 期近と期先の価格差を基に算出します。</p>

旧	新
<p>証券CFD取引の仕組みについて</p> <p>(a) 株価指数CFD</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株価指数CFD取引に必要な証拠金の最低額は、各建玉の対価の額の10%に相当する円価格です。 ・株価指数CFD価格は対象となる原資産の株価指数先物の市場価格に連動します。 ・金利調整額の受払は発生しません。 ・<u>限月のない銘柄の場合、価格調整額の受払が発生いたします。</u> ・<u>決済期限は、原資産市場の取引最終日に準じます。取引最終日までに建玉を決済されない場合は、翌営業日に最終清算価格で強制決済されます。</u> <p>2.証拠金</p> <p>(9) 価格調整額</p> <p><u>株価指数CFD（限月のある銘柄を除く）</u>において、決済期日を設けていないため、当社が定める日に建玉を保有していた場合、当社で定めた価格調整額が発生します。</p> <p>価格調整額は原資産の最終取引日を迎える前の当社が定める日において、期近と期先の価格差をもとに算出いたします。</p> <p>なお、価格調整額の計算式は以下の通りです。</p>	<p>証券CFD取引の仕組みについて</p> <p>(a) 株価指数CFD</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株価指数CFD取引に必要な証拠金の最低額は、各建玉の対価の額の10%に相当する円価格です。 ・株価指数CFD価格は対象となる原資産の株価指数先物の市場価格に連動します。 ・金利調整額の受払は発生しません。 ・<u>価格調整額の受払が発生いたします。</u> <p>(削除)</p> <p>1.証券CFD取引の概要</p> <p>(4) 価格調整額</p> <p><u>株価指数CFD</u>において、決済期日を設けていないため、当社が定める日に建玉を保有していた場合、当社で定めた価格調整額が発生します。</p> <p>価格調整額は原資産の最終取引日を迎える前の当社が定める日において、期近と期先の価格差をもとに算出いたします。</p> <p>なお、価格調整額の計算式は以下の通りです。</p>

旧	新
<p><u>買建玉：(期近銘柄(※1)CFD 終値(BID レート) - 期先銘柄(※2)CFD 終値(BID レート)) × 取引単位 × コンバージョンレート</u></p> <p><u>売建玉：(期先銘柄 CFD 終値(ASK レート) - 期近銘柄 CFD 終値(ASK レート)) × 取引単位 × コンバージョンレート</u></p> <p>※1 期近銘柄とは、価格調整日(※3)の直近の一定期間においてカバー取引を行う上で最も流動性が高かった原資産の銘柄を意味します。</p> <p>※2 期先銘柄は、価格調整日を挟んで、以降の一定期間においてカバー取引を行う上で最も流動性が高かった原資産の銘柄を意味します。</p> <p>※3 価格調整日は原資産となる限月の期日が訪れるまでの当社が定める日を指します</p>	<p><u>買建玉：(期近銘柄(※1)CFD 終値(MID レート) - 期先銘柄(※2)CFD 終値(MID レート)) × 取引単位 × コンバージョンレート</u></p> <p><u>売建玉：(期先銘柄 CFD 終値(MID レート) - 期近銘柄 CFD 終値(MID レート)) × 取引単位 × コンバージョンレート</u></p> <p>※1 期近銘柄とは、価格調整日(※3)の直近の一定期間においてカバー取引を行う上で最も流動性が高かった原資産の銘柄を意味します。</p> <p>※2 期先銘柄は、価格調整日を挟んで、以降の一定期間においてカバー取引を行う上で最も流動性が高いと考えられる原資産の銘柄を意味します。</p> <p>※3 価格調整日は原資産となる限月の期日が訪れるまでの当社が定める日を指します</p>
<p>3. 返済に伴う金銭の授受</p> <p>(1) 返済について</p> <p>(a) 反対売買による決済</p> <p>保有している建玉をお客様の注文により決済していただく方法です。</p>	<p>3. 返済に伴う金銭の授受</p> <p>(1) 返済について</p> <p>(a) 反対売買による決済</p> <p>保有している建玉をお客様の注文により決済していただく方法です。</p>

旧	新
<p><u>b) 最終清算による決済</u></p> <p>株価指数CFD（限月のない銘柄を除く）については、銘柄ごとに決済期限が決められています。お客様が建玉を保有し、反対売買により建玉を取引最終日までに決済されなかった場合、当該建玉は取引最終日の翌営業日に最終清算価格で自動的に決済されます</p> <p><u>(c) ロスカット決済</u></p> <p>当社のロスカットルールに基づき、建玉ごとに設定されたロスカットレートに CFD価格が到達した時点で自動的に反対売買されます</p>	<p><u>(削除)</u></p> <p><u>(b) ロスカット決済</u></p> <p>当社のロスカットルールに基づき、建玉ごとに設定されたロスカットレートに CFD価格が到達した時点で自動的に反対売買されます</p>